

「若手研究者のためのセミナー ―西洋中世学を学ぶ人々のために―」のご案内

西洋中世学会準備委員会では、このたび、日本中世英語英文学会との共催で、若手研究者のためのセミナーを開催いたします。すべての企画について、どなたでも参加出来ますので、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

西洋中世学会準備委員会

日程 2008年10月25日(土) - 26日(日) 計2日

場所 慶応義塾大学 三田キャンパス 東館
(www.keio.ac.jp/access/mita.html をご覧ください。4番の建物です。)

プログラム

1日目：13時受付開始

1) 講演 13時30分から 東館8階ホール

高田康成(東京大学) 「Tertium Quid: メディアとしての西洋中世」 14時-15時半

佐藤彰一(名古屋大学) 「12世紀ルネサンス論再訪―アリストテレス受容をめぐる最近の動向―」
15時45分-17時15分

2) 懇親会 18時-20時 場所、会費未定(後日、公開します)

2日目：8時30分受付開始

1) ワークショップ「中世学研究の現場に触れる」 東館8階ホール、同4階セミナー室

9時-10時30分

A 「書物と読書行為」

杉崎泰一郎(中央大学 フランス宗教史)、北村直昭(法政大学非常勤講師 書物の歴史)

読書行為と書物は幅広い分野から注目されているが、とりわけ古書体学など写本学における研究の進展が著しい。今回はこれらの分野での最近の研究を紹介し、読書行為や書物というテーマが中世学諸領域とどのようなつながりをもてるのか意見交換をしたい。

B ^{イコノグラフィ}「**図像学**のその先へ ―ロマネスクの美術と建築を“読む”―」

金沢百枝(國學院大学 ロマネスク美術史)、小倉康之(玉川大学 建築図像学)

特殊な図像や建築をどう「読む」か。第一部では怪物や動物など、聖書や聖人伝の知識では読み解けないロマネスク美術の「図像」を、第二部では建築そのものが担う意味をクラウトハイマーの論考をもとに考察する。

10時45分-12時15分

C「歴史叙述と権力」

鈴木道也（埼玉大学 フランス史）、有光秀行（東北大学 ブリテン諸島史）

多様な歴史認識が交錯する中世社会にあつて、歴史叙述に携わる知的エリートたちは、どのような意識と方法論をもってそれぞれの史書を組み立てていたのだろうか。歴史家が常に直面する歴史叙述と権力との関係について、13、14世紀フランス王国の年代記における写本間の異同の問題を手がかりに考えてみたい。

D「写本と刊本のあいだ —説教テキストを読む」

赤江雄一（中央大学研究員 文化史・宗教史）、藤井香子（大阪学院大学 古英語統語論・写本研究）

このセッションでは、中世ヨーロッパにおいて、もっとも重要なコミュニケーションの形態に数えられる説教に対して、どのようなアプローチの仕方があるのかを考えたい。具体的には、アングロ・サクソン期の古英語の説教と、14世紀イングランドのラテン語の説教を例にとりつつ、元の写本と、写本から活字化された刊本のあいだに、どのような問題が含まれ、どのような研究につながりうるのかを例示することで、今後の研究の可能性を示したい。

2) パネル・ディスカッション「Medievalist になること」 14時-16時45分 東館8階ホール

司会：有光秀行、杉崎泰一郎

パネラー（発言順）

三浦麻美（中央大学院生 ドイツ宗教史）、松田隆美（慶應義塾大学 イギリス文学）、岩波敦子（慶応義塾大学 ドイツ心性史）、藤井香子、徳橋曜（富山大学 イタリア都市史）、赤江雄一

参加要領

1) 参加費無料。学会への加入の有無にかかわらず、すべての参加者は無料で参加出来ます。

2) 参加手続き

—西洋中世学会ウェブサイト上で参加手続きをお願いします。締切は9月27日（土）としますが、これは事前に人数を確認するためです。当日の飛び入り参加も可能ですが、できましたら事前にお申し込みください。

—懇親会については、事前の申し込みをお願いいたします。お申し込みいただいた人数によって、場所・会費を決定いたします。会費は、出来るだけ廉価となるよう努力いたします。

—ワークショップについては、9月初め頃に、西洋中世学会ウェブサイトにおいて、さらに詳細な概要を公表します。参考文献も事前にお知らせしますので、できましたら予習をお願いします。

—ワークショップでは、さらに、セッションによって、直前に資料を西洋中世学会ウェブサイト上で公開することがあります。ウェブサイトの掲示にご注意ください。

西洋中世学会ウェブサイト <http://www.medievalstudies.jp/>

なお、このセミナーについての問い合わせ等は event@medievalstudies.jp にメールでお願いします。